

2018.5.17 前例を超えて創造する流儀

財政社会学から

日本の医療福祉の明日を考える

慶應義塾大学

井手英策

置き去りにされた人びとの怒り

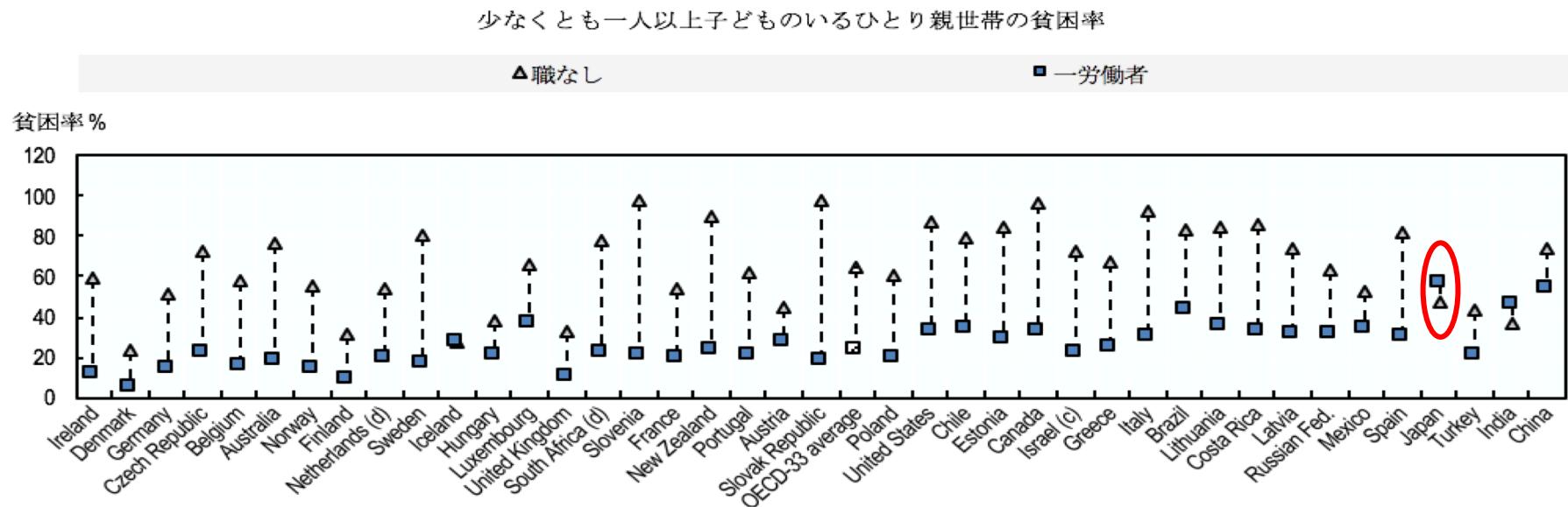
- 日本の通俗道徳 (=勤労、儉約、分度・・・)
 - 村請制度 = 働かない人たちを「助ける義務」を負った江戸時代の中高所得層、蓄積した不満と怒り
 - 明治期にベストセラーとなったS.スマイルズ「自助論」「自分で自分を助けようとする精神こそ、その人間をいつまでも励まし、元気づける。その人のために良かれと思って援助の手を差し伸べても、相手はかえって自立の気持ちを失い、その必要性をも忘れるだろう」
 - 「置き去りにされた人たち」の不満の爆発 = 自由民権運動

「働くがざるもの食うべからず」

- 占領期の憲法論議にもあらわれた通俗道徳
 - 「勤労ハ国家ノタメニ働く云フコトデナシニ、働くガザルモノハ食フベカラズ式ノ考ヘデアリ、従ツテ働くタル者ハ生存権ヲ保障セラレネバナラヌト云フ考ヘデアル」
 - 社会党系の森戸辰男「公共ノ福祉ノタメニ」「労働力ノアル働く者ハ皆働くガレバナラ」 \rightarrow 「勤労の義務」の考え方そのもの
- 勤労に刻まれた「人格性」 = 働かない人間は堕落している
- 人様のご厄介になることを「恥」とする文化

所得が減るのに働く女性

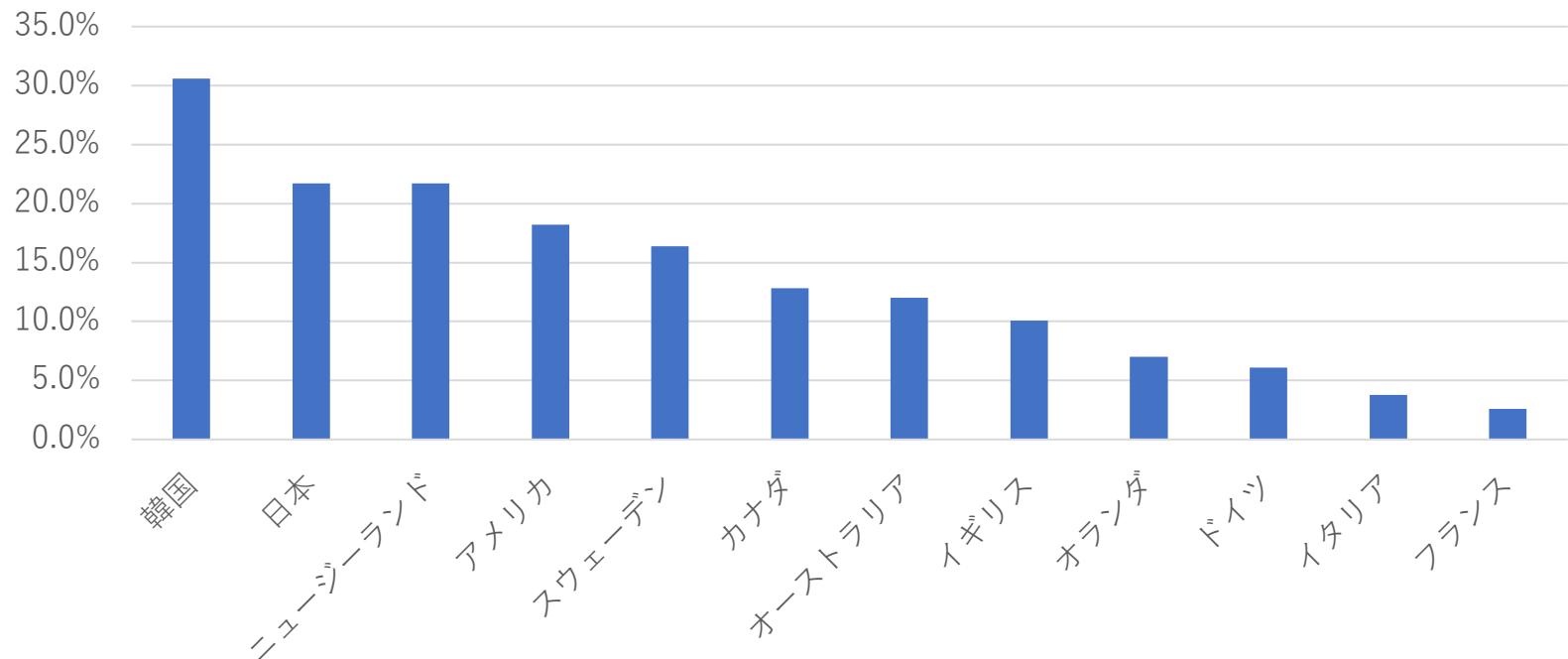
日本の母子世帯の就労率は **3位**
所得は夫婦と子どもからなる世帯の **33%**
ひとり親世帯の貧困率は先進国 **1位**



OECD Family Databaseより作成

歳をとっても働き続ける

65歳以上の高齢者の就業率



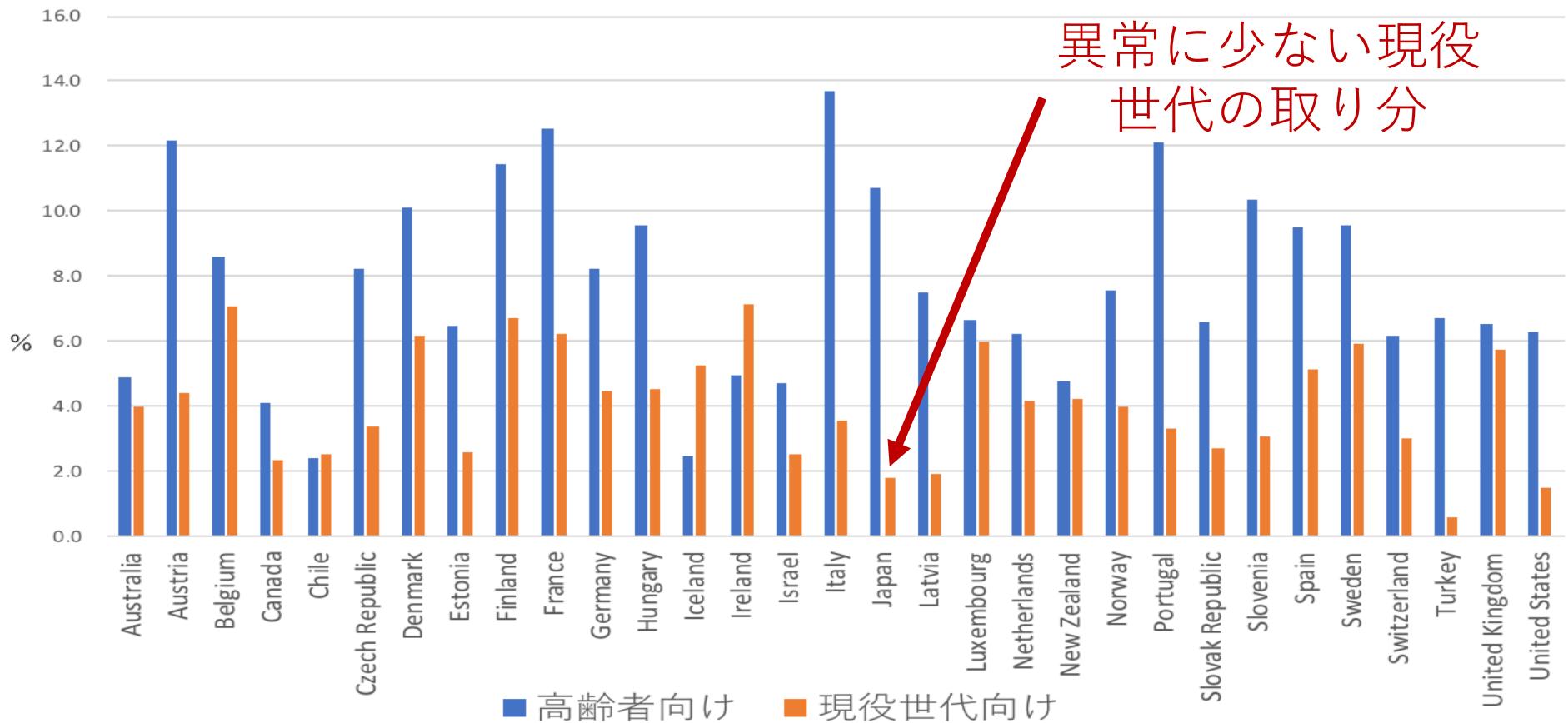
出所：データブック国際労働比較2017より作成。

注：スウェーデンは65歳～74歳のデータ。

働くことがしんどい社会

- ・『国際社会調査プログラム』における「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合
 - ・「私の仕事は失業の心配がない」 40位/41カ国
 - ・「私の仕事は収入が多い」 36位/41カ国
 - ・「私の仕事はおもしろい」 39位/41カ国
 - ・「ストレスを感じる」 3位/41カ国
 - ・「就労の時刻が決められており、勝手に変えられない」 6位/41カ国
 - ・「家の用事、個人的理由で1－2時間仕事を離れられる」 39位／41カ国
- 「一億総活躍社会」か？ 「一億総勤労社会」か？

子育て、教育、老後、病気、住宅・・・ 現役世代は勤労と僥約の「自己責任」

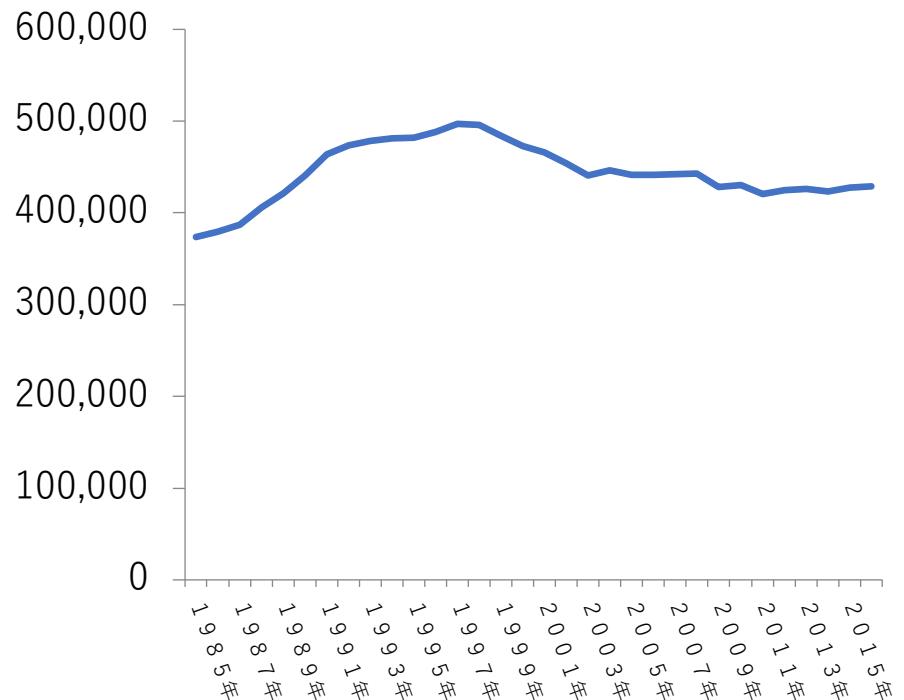


OECD stat.より作成。高齢者向けは「高齢」、現役世代向けは「家族」「住宅」「失業」「積極的労働市場政策」。

なのに・・・ 1997年をピークに減少を続けた手取り

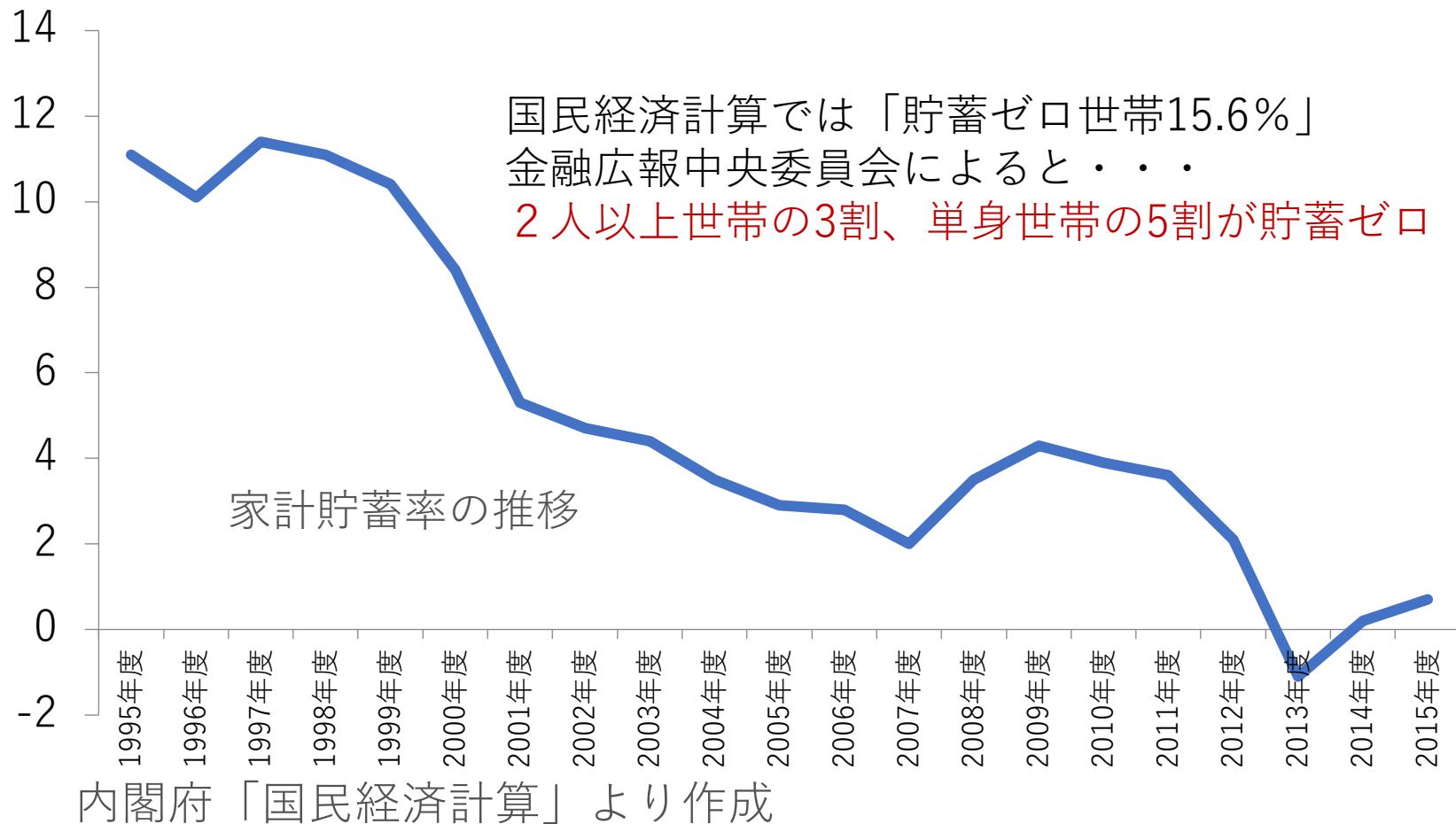
- 1998年から非正規雇用が急増
- 世帯収入は20年で2割近く低下
- 勤労者世帯でさえ13%の低下
- 世帯収入300万円未満は全体の33%、400万円未満は47%

→ インバウンドを成長戦略と言っている場合なのか？

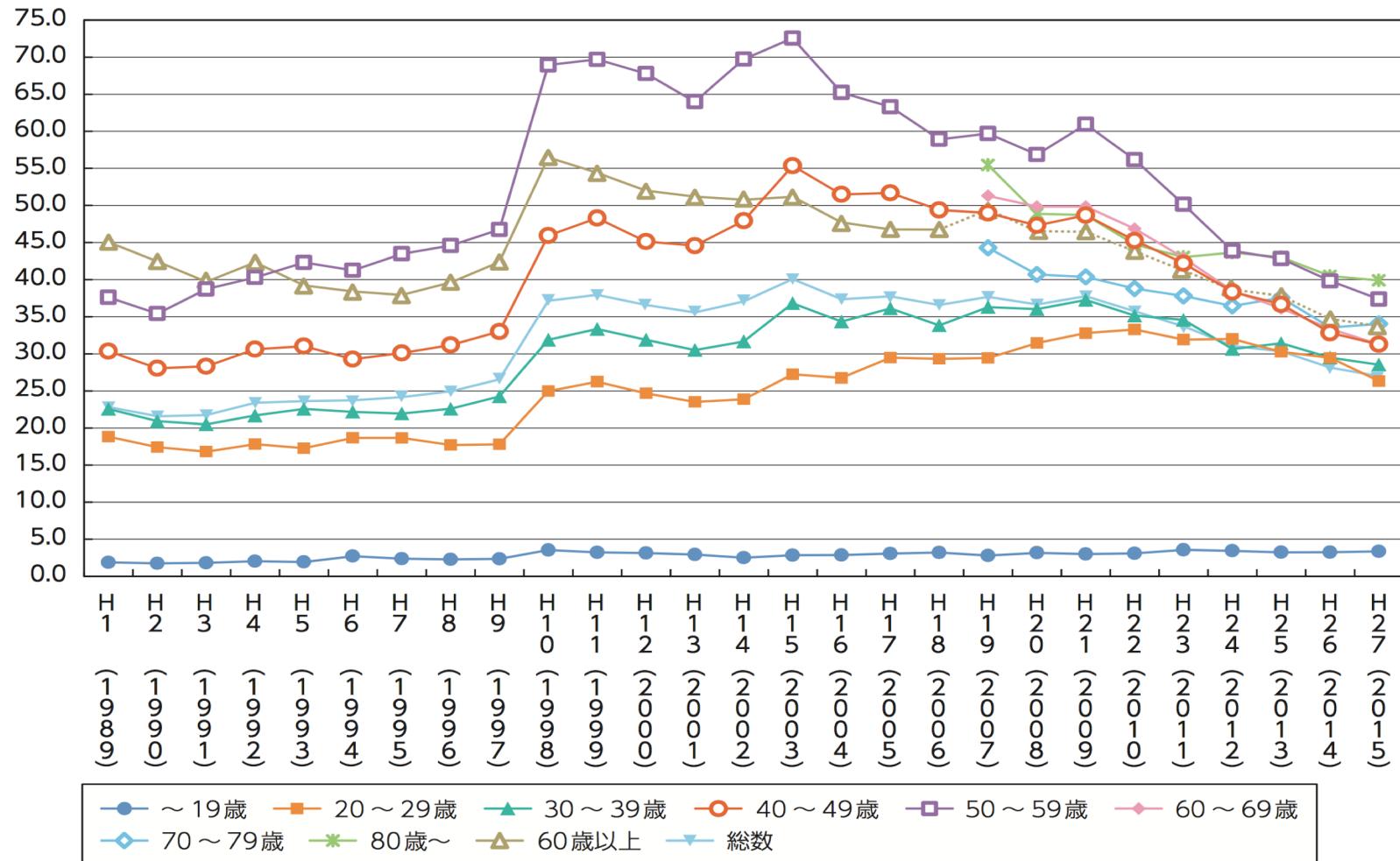


総務省家計調査年報より作成

貯蓄減少が生活不安に直結する 自己責任社会なのに・・・



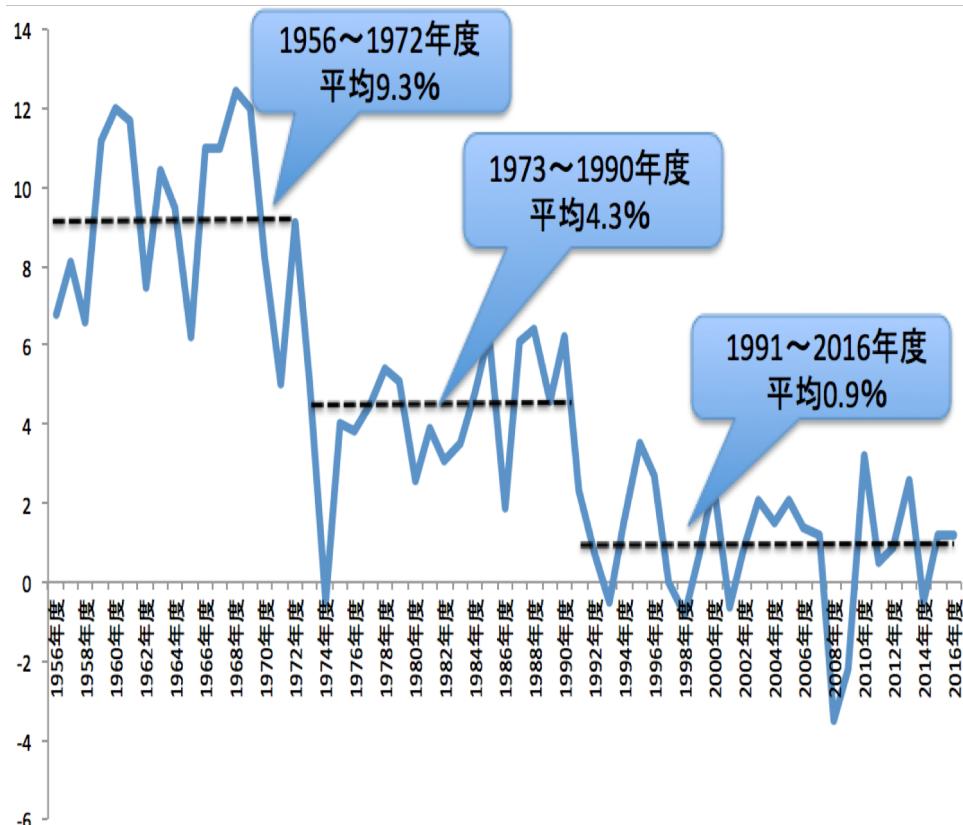
「無責任 = 死」



厚生労働省『自殺対策白書』より

ひとつ目の答え

経済を成長させ、貯金できるようにする



内閣府「国民経済計算」より作成
注：単位は%

- お金・土地・労働力をフル稼働でも将来成長率はゼロ%台後半～1%
- アベノミクス+五輪需要+米国景気 = 5年間の平均実質成長1.3%
- 安倍政権期の6倍以上の収入増（4年で0.6%→毎年1%）で2029年にやっと1997年の収入に戻る
- GDPは6.2兆ドルから4.9兆ドル、一人当たりGDPは11位から18位へ

→ 成長に頼れないことは明らか

ふたつ目の答え

貧しい人たちが生きていけるようにする

- 弱者に優しい左派・リベラルが生み出す怒りの連鎖
 - あなたの生活水準は？→「下流」が4.8%、「中流」が92.1%
 - 「所得はもっと公平にされるべき」（39位／58カ国）、「格差是正は政府の責任」（28位／33カ国）
 - かながわの悲劇：小田原市生活保護ジャンパー問題と相模原事件
- 「だれかがしんどい」ではなく「みんながしんどい」社会
- 「置き去りにされた『中間層』」の不満の爆発

目の前に来ているポピュリズム

ティーパーティー運動に参加した人たちの思い

「政府は行いのよい市民から金を奪い、行いの悪い市民に提供している」

「行列に並ぶ自分の目の前に見知らぬ人が割り込んでくる。自分たちはルールを守っている。だがその人たちは守らない」

「彼らはマイノリティ優遇措置や就職支援、生活保護、無料の食事などを通じて、人々の心のなかにひそかな怒りの感情を作り出す」

「女性、移民、難民、公務員、いったいこうした優遇はどこまで続くのか」

(A.R. Hochschild, "Strangers in Their Own Land")



Donald J. Trump
@realDonaldTrump



Such a beautiful and important evening! The forgotten man and woman will never be forgotten again. We will all come together as never before

8:36 PM - Nov 9, 2016

1 54,691 2 211,404 3 613,708



The wealth of our middle class has been ripped from their homes and then redistributed across the entire world.

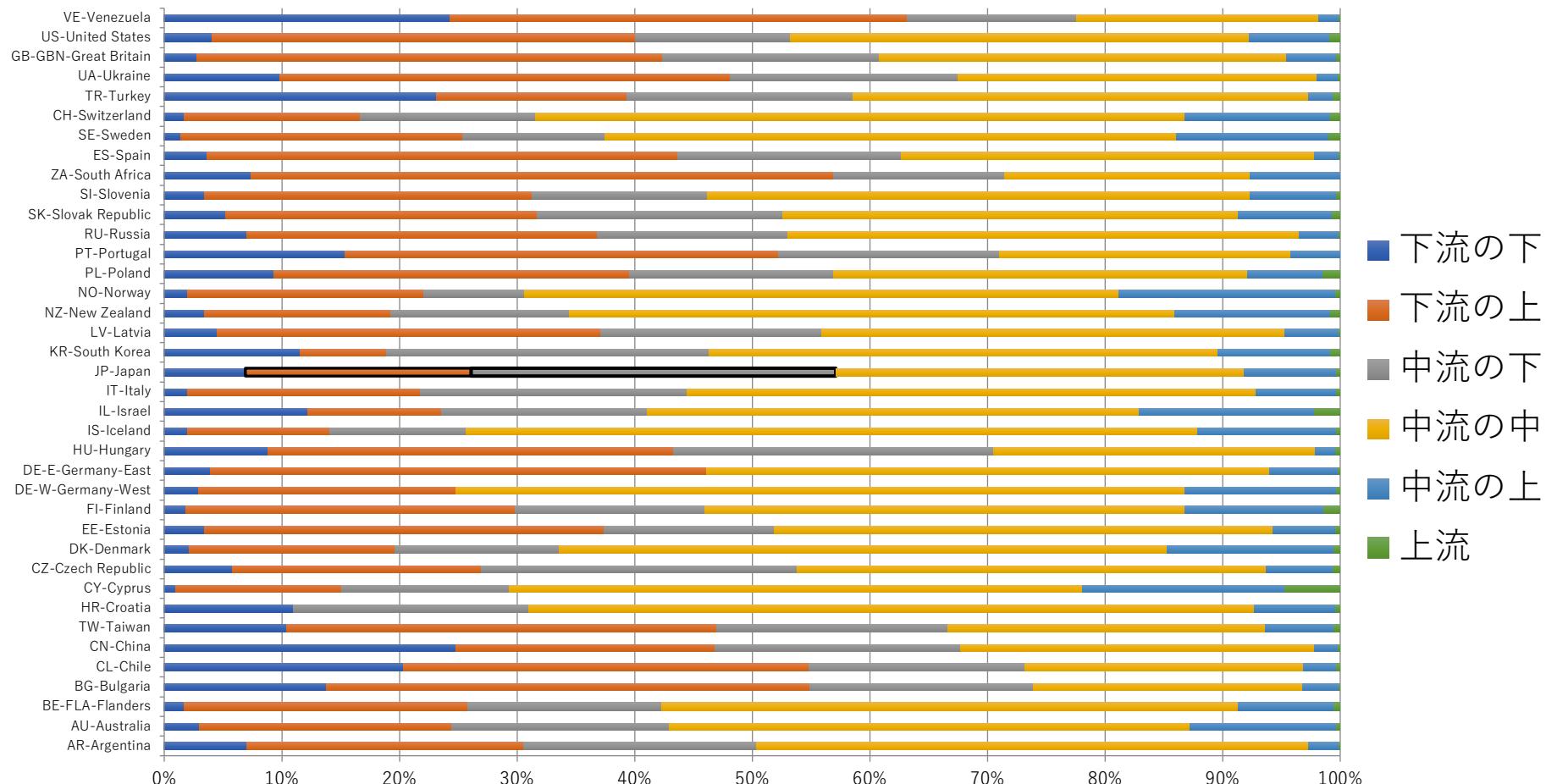
But that is the past. And now we are looking only to the future. We assembled here today are issuing a new decree to be heard in every city, in every foreign capital, and in every hall of power.

From this day forward, a new vision will govern our land.

From this moment on, it's going to be America First.
(トランプ大統領就任演説)

38カ国中「中の下」1位 「下の上」29位

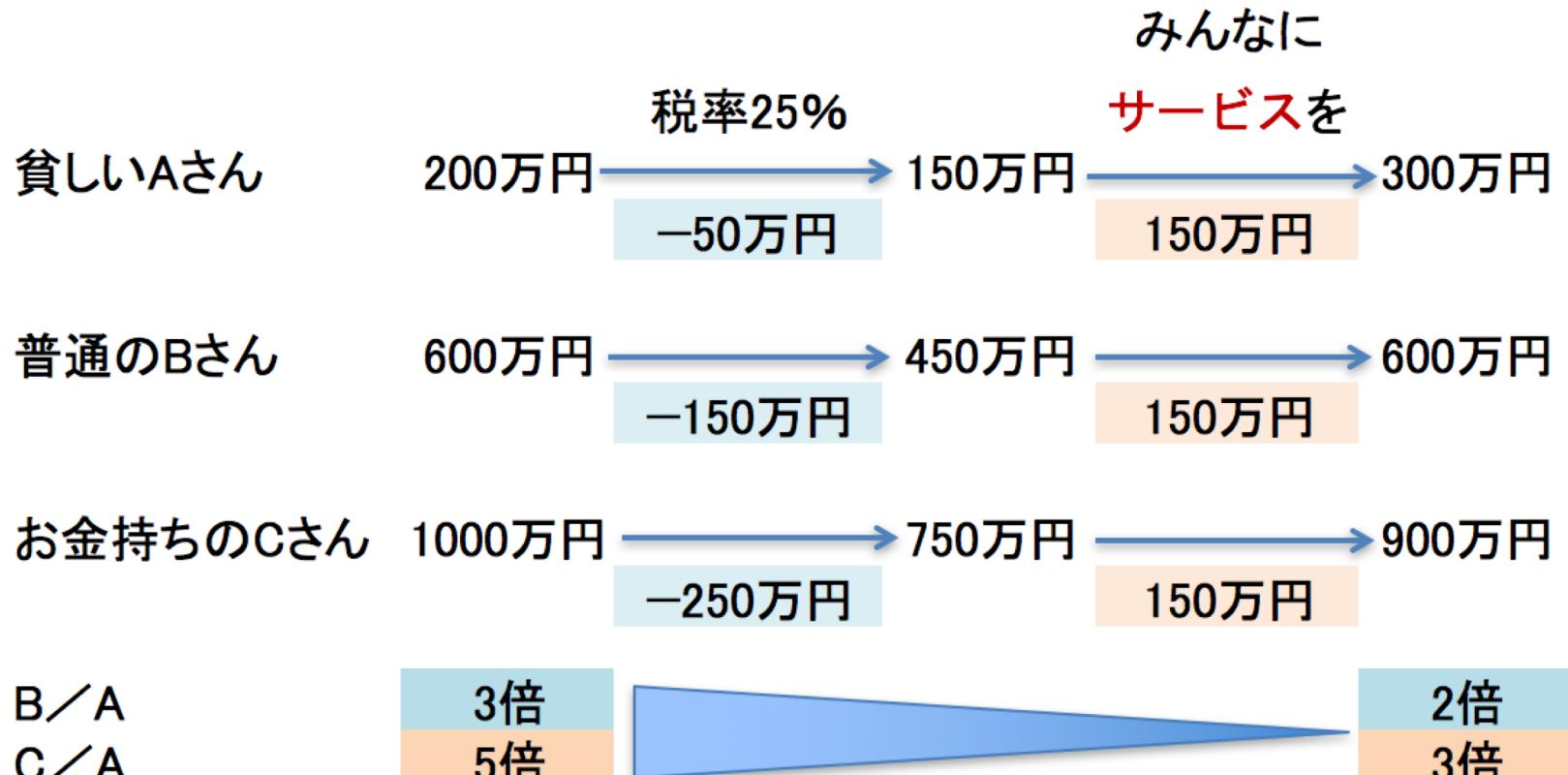
あなたはどの階層に属していますか？



出所：ISSP 2009 Social Inequality

第三の道

すべての人を既得権者に！

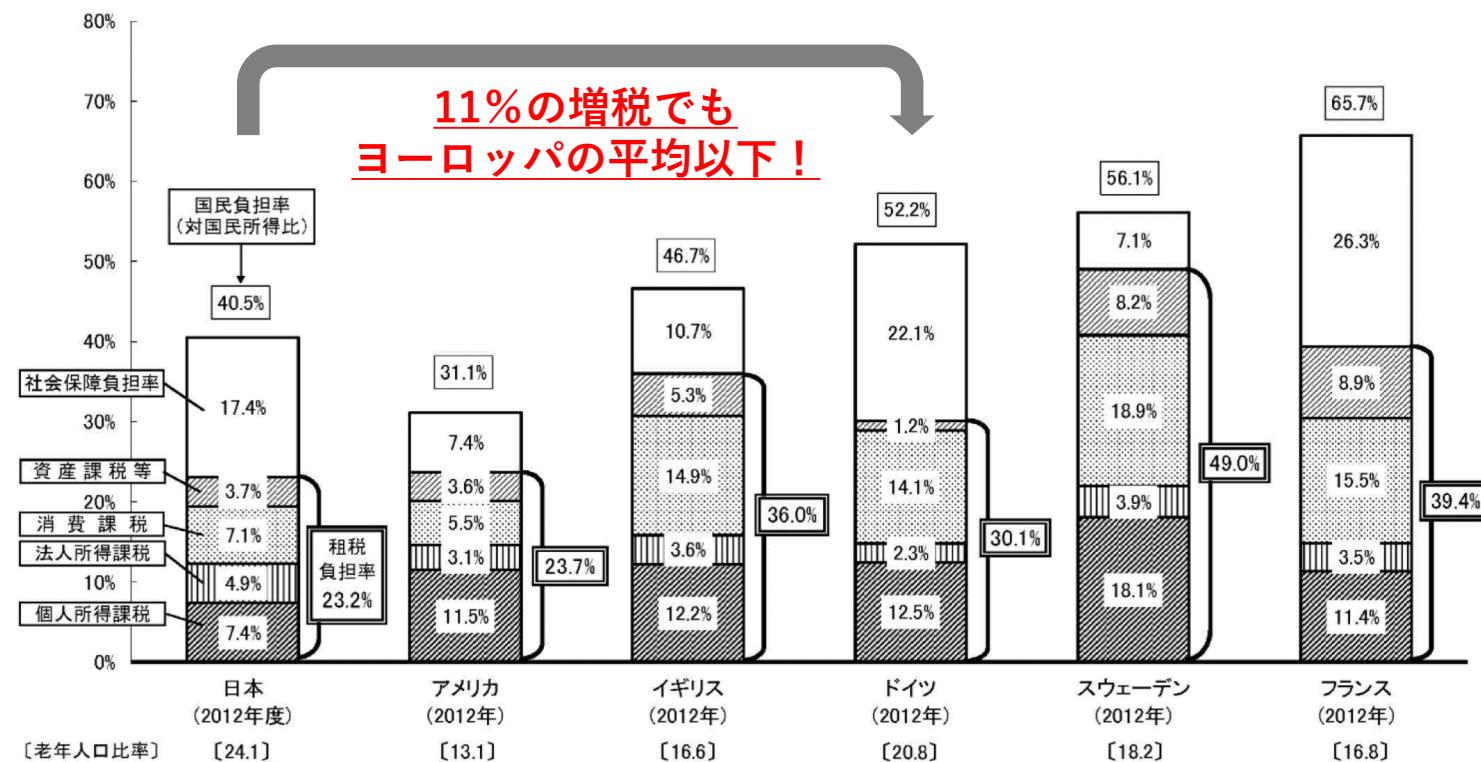


格差は明らかに小さく！！

弱者を叩く、政府を疑う意味をなくす

税で未来の希望をつくる

- 消費税3.6%→幼稚園・保育園（0.8兆円）大学授業料（3兆円）医療（4.8兆円）介護（0.8兆円）障がい者福祉（数百億円）
- さらに3.9%の増税で毎年の財政赤字がなくなる



危機の時代にあらわれる「共（とも）」

- 縮減の時代（縄文末期、平安末期～鎌倉、江戸中後期）の経験
- スウェーデンとアメリカという正反対の国でさえ・・・
 - 1928年P・A・ハンソンの講演：「家の基礎は共同と連帯だ・・・階級社会スウェーデンは、いつか国民の家スウェーデンにとって代わられなくてはならない」
 - 1938年F. ルーズベルトの演説：「私たちがなしつつあることはよいことだ。だが、十分によいものではない。真に国家の、社会の保障となりうるためには、その保護を必要としているすべての人たちを包摂しなければならない」

「公」そして「共」の再生 = 「公共」

- 「公・共・私」のベストミックス、総力戦の時代
 - 高知県土佐町石原地区「スーパーとガススタンドの社会化」
 - 富山県舟橋村「子育て共助の村」
 - 岡山県西粟倉村「百年の森構想」
 - 佐賀県多久市「公民協定」
 - 長野県松本市「ヘルスバレー構想」

・・・数えあげればキリがない「共（コモン）」の再生
- 「欲望充足」から「必要充足」の時代へ
 - 自治体は「サービスプロバイダー」から「プラットフォームビルダー」へ
 - ソーシャルワーカーによる地域の社会資源の発掘
 - 明日発表される新たな「地方連帯税」構想

公共性を作り変える

- ・僕たちは「屈辱最小化」戦略を取る
- ・医療扶助、教育扶助、介護扶助・・・サービス機能を強化し、だれもが堂々と生きられる社会を作る = 「尊厳ある生活保障」
- ・最後の自由の砦である生活扶助、生活の基盤である住宅支援 = 「品位ある命の保障」
 - 「公」の果たすべき役割を「ふたつの保障」で作り変える
 - 地域社会の相互扶助機能の再生に向けた「共」の動き
 - この2つを両輪とする「社会改革（social reform）」を
 - 生まれたときの運・不運で一生を決めさせない社会へ